



*学校便り作成にあたり、生徒の文章や写真を使用する場合があります。長田中学校個人情報取扱規程を遵守しておりますが、お気付きの点がありましたら学校までご連絡ください。

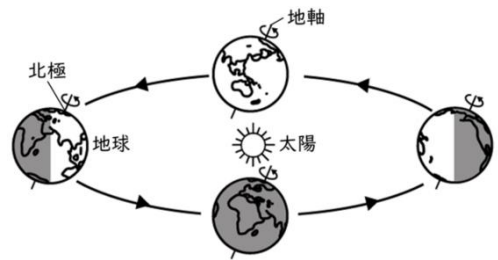
うるう年の2月29日は、4年に1回ではない！？ ～日常の当たり前に向け、疑問や課題を解決する！～

今年は「うるう年」で2月は「29日」があります。1日分得した気分ですね。うるう年に夏季オリンピックが開催される認識でしたが、よく調べてみるとそうではないようです。生徒のみなさんは知っていましたか。

現在世界中の多くの地域では、地球が太陽の周りを公転する周期を暦上は365日としています。しかし、実際の公転周期は365.2422日と1日の1/4ほど長いので、4年に1度の補正が必要になります。そのため、2月に1日を加えて29日とするのが「うるう年」です。

さらに微妙なずれを調整するために、次のような条件が定められています。

- ・西暦年が4で割り切れる年はうるう年とすること
- ・西暦年が100で割り切れる年は平年とすること
- ・西暦年が400で割り切れる年はうるう年とすること



そのため、この条件の下では400年に97回のうるう年があることになります。日本で西暦年が採用された1872年(明治5年)以降の1900年、2100年は「西暦年が4で割り切れる」とこと「西暦年が100で割り切れる」ことに該当しますが「400」で割り切れないので、うるう年ではなく平年ということになります。そのため1896年に開催された第1回アテネ五輪はうるう年でしたが、1900年に開催された第2回パリ五輪は平年開催となりました。ちなみに今年2024年のパリ五輪はうるう年の開催ということになります。まだ開催地は決まっていませんが、2100年はうるう年ではない五輪イヤーとなるわけです。

暦については「どうして30日と31日の月があるのか」「どうして2月だけ28日なのか」「日本では西歴以前にどのような暦を使っていたのか」など、日常の当たり前の中にもよく考えるとどうしてだろうと疑問に思うことは多々あります。生徒のみなさん、インターネットが普及している現代では、これらの疑問は検索するだけで、ある程度の答えを見つけることができますが、今回のうるう年の条件が、本当に正しいかどうかを自ら検証することにもチャレンジしてはいかがでしょうか。また、このやり方よりもっとよい方法や条件を考えてみてはいかがでしょうか。単に知識を覚え理解するだけではなく、自ら分析したり、評価したり、新たな方法や条件を創造したりするような力が、今後、生徒のみなさんに求められています。

3年生は式の練習が始まり、ようやく卒業の実感が・・・

～明日の全校集会は、表彰披露、野球部・生徒会報告、卒業式の合唱練習と盛りだくさん～

今年の卒業式は、新型コロナウイルス感染症が2類から5類に分類されたことから、入場制限を廃して、3年生の保護者の皆様と在校生全員で、卒業生を見送ります。式の参列者は総勢1,000名を超えるため、会場はコロナ禍の卒業式とは比べものにならないくらい座席の間隔が狭くなります。保護者の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

公立入試まで
あと

6日

卒業式まで
あと

9日

生徒のみなさん、卒業式は中学校最後の授業となります。3年生は、堂々と成長した姿を見せてください。1、2年生は、その姿をしっかりと目に焼き付けてください。思いの「絆」をつないでいてほしいと思います！